

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2018年7月26日

株式会社JMC、砂型鑄造の生産設備を増強

鑄造工程の生産設備を強化し、生産能力を最大1.4倍に

製造業の試作・開発分野に向け、鑄造部品を提供している株式会社JMC（神奈川県横浜市 代表取締役社長：渡邊大知）は、昨今の自動車業界を中心としたアルミニウムやマグネシウム鑄造品の需要拡大に対応するため、コンセプトセンター（長野県飯田市）内に**溶解炉2基、アーム型非接触三次元測定機1台、低圧鑄造設備1基、脱ガス処理装置1基**を導入し、生産設備の大幅な増強を実施しましたので、お知らせいたします。

1. 溶解炉

この度導入した設備の中で、溶解炉は生産量に直結する重要な設備であり、既存の溶解炉と合わせて8基体制となったことから、鑄造工程における1日の生産能力が最大で約1.4倍（当社前期比）となります。さらに、同時に多くの種類のアルミニウム合金を取り扱うことができるようになり、多様な素材需要に対し柔軟に対応することが可能となりました。

また、溶解炉の増強による溶解能力の向上に伴い、付随する砂型造形の生産ラインが将来的に不足する見込みのため、2018年11月には同1ラインの増設を予定しており、これら一連の設備導入によって生産能力の大幅増強を実現いたします。



溶解炉

2. アーム型非接触三次元測定機

鑄造工程の生産量増加に対応するため、品質保証体制の強化として、ヘキサゴン・メトロロジー株式会社製のアーム型非接触三次元測定機『ROMER Absolute Arm 7325SI』を導入いたしました。本機はポータブルタイプであり、鑄造工程内での測定が可能で、鑄造品の形状測定の効率向上や品質向上が見込まれます。

3. 低圧鋳造設備

JMCで初めて導入する低圧鋳造設備は、JMC仕様にカスタマイズしたものであり、高品質な鋳造品を製造できることが特徴です。JMCは、これまでも耐熱マグネシウム合金を材料とする難易度の高い製造に取り組んできましたが、本設備の導入によって製造時の歩留まりが改善され、品質の高い鋳造品をより安定して提供することが可能になります。

またアルミニウム合金の製造においても、自動車のシリンダーブロックやシリンダーヘッド、足回り部品等の重要保安部品、航空分野で求められる高品質の鋳造品が、従来よりも容易に製造できるようになります。

JMCは本設備の導入によって、これまで以上に高付加価値を創造し、試作・少量量産の分野における確固たる地位の確立に取り組んでまいります。



低圧鋳造設備



ROMER Absolute Arm 7325SI

【設備増強の概要】

溶解炉	アルミニウム合金専用電気炉 300kg 2基
非接触三次元測定機	ヘキサゴン・メトロジー株式会社製 ROMER Absolute Arm 7325SI
低圧鋳造設備	アルミニウム合金・マグネシウム合金兼用
脱ガス処理装置	株式会社パイロテック・ジャパン GBF システム

【株式会社JMC 会社概要】

会社名：株式会社JMC

所在地：神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-5 住友不動産新横浜ビル 1F

代表者：代表取締役社長 渡邊大知

設立：1992年12月18日

URL：<https://www.jmc-rp.co.jp/>

事業内容：3Dプリンターおよび砂型鋳造による試作品、各種部品・商品の製造、販売
産業用CTの販売および検査・測定サービス

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社JMC 広報担当

TEL：045-477-5751 FAX：045-471-5270 E-MAIL：jmcltd@jmc-rp.co.jp